

# 良い山造りを目指して鹿山担当区班の取組み

小坂営林署 成瀬 謹 市

## 1. はじめに

最近“改善計画”とか“赤字財政”など良く耳にする。行財政のむづかしい事は良く解らないが、国有林が年々厳しい情勢にあり、現場でも特に労務の面など厳しくなってきた事は、皆が痛感している。

営林署からは、良い山造りに改善工夫はないだろうかと期待され、現場第一線で働く立場でも、皆で真剣に心掛けなければならず“無駄を省き、有益で無理のない安全作業で、良い山造りをやろうと頑張ってきた、その取組みと、更にこれを推進するため、報告する。

鹿山の現場は、3,474 haあり、谷筋が多くて山足が長く、急傾斜に加え悪場が多い。植生は2 m前後のササ密生地が殆んどで、環境が悪いので諸作業実行上苦労が多く、併せて安全確保にも、それなりの対応が必要である。

## 2. 取 組 み

### (1) 林地除草剤によるササ処理

ササは、刈払いを繰り返してもなお旺盛に繁茂する。このササとの闘いには、以前から除草剤使用が一番効果的と考えられる。

下刈保育を終了した箇所でも、2年も経過すると、ヒノキの上長生長が旺盛になる時期に、ササの繁茂で被圧される箇所が出てくる。こんな箇所を再度、刈払機で刈払いたいが、経常事業で手いっぱい、しかも中腹以上が多くて林道からも遠く、大ササ原を刈払うことは、想像以上に困難な作業である。そして災害の心配も余計にしなければならない。

昨年度からはヘリコプター散布を取り入れ、地上散布作業を省き、薬剤取扱いの安全性を図るなどして実行をした。

### (2) カモシカ被害と防除

カモシカによる、ヒノキ植栽木の喰害被害は依然として多い。

私たちが、毎年懸命に新植した造林木の無慙な状態を観るたびに、誰しものが落胆することである。

被害防除対策は、種々試みているが、これといった決め手もなく、当面昨年度から始った、カモシカの現状変更申請許可に基づく、一般銃も含めた捕獲作戦による早期効果を期待してい

るところである。

地元町から協力要請を受け、私たち班員から捕獲班の一員を送りだすなどの協力もしている。

### (3) 安全活動

よい山づくりの作業と安全は車の両輪であり、労働災害を未然に防止することが安全確保である。

私たちの班では、昭和50年度の災害以来、無災害を続けているが、習熟した作業を繰り返す内でも、ハッ! とした 300 事故が割合多いのではないかと、皆なが思うようになった。そして“気になっていた”“気をつけよう”だけでは、労働災害は防げるものではない。皆なで具体的な安全対策を出すことに一致した。

先ず一人ひとりが、300 事故の体験と、自己の体力なども総合整理し、最も留意すべきことを自覚した。

新しい作業の始めや、月の始めには、主任からの作業計画と手順に従って、一人ひとりの安全対策を出し合い、皆なで討議した。

次に、班の重点目標を編み出し、自覚と共に目標に従って、毎日の作業に努力して来た。

7月を例にすると、一人ひとりの最も留意する事項を列記すれば下記のとおりである。

A→共同作業という自覚をもち、身も機械も可愛がって使う。

B→作業前に必ず点検し、一人判断の作業はやめる。

C→足場の悪い箇所を進んでやり、保護具の着用をしっかりとる。

D→膝が弱いので刈払中の歩行は送り足で、足元の確認を十分ににする。

E→全体的に障害物の多い山なので、エンジンのふかし方、作業間隔、上下作業に気を配る。

以上から、班の7月重点目標は下記のとおり決定した。

ア 常に一定の作業間隔を保ち、接近作業はやめよう。

イ 機械器具の点検と保護具の安全着用をしよう。

これが、口先だけで絵い描いた餅であったり、そうでなくてもマンネリ化しないために、安全当番は、日番で行い、

㌞ 朝の作業開始前に、自覚と目標を確かめる一言。

㌟ 安全体操の指導。

㌠ 作業終了時に“何かなかったか”の点検と反省。

以上を励行してきた。

300 事故を分析してみると、月単純平均で 3.8 件と多い。

A 週間では、週休日後のしかも午前中が多く、次に途中(木曜日)の午後が多い。3日

目毎の周波数を示しているのが特徴。

- B 作業種では、やはり除伐、下刈、地拵と多くなっている。
- C 部位別で見れば、顔面が41%も示すのが特徴で、足・手を上まわっている。
- D また、気象条件では、降雨、降積雪の悪条件は影響しているが、平常日にも多いことに注目する。

以上をはじめ、キメ細かく分析し活用を図った。(表一 参照)

### 3. ま と め

#### (1) 除草剤散布(特殊下刈)について

特殊下刈について述べれば、フレノックを散布しているが、翌年から3か年は、ササの旺盛な繁茂が抑制され、ヒノキ造林木のササとの競合、被圧から、ササ生地の疎開に慣れながら、枝を張り生長に力をつけて来ているのを観察すると、期待どおりの効果があがっていることが確認出来た。

作業面では、

- ア ササの刈払い適期は、下刈最盛期とも同じで、刈払いの余裕がないのを解消してくれる。
- イ ササの刈払いは、鎌ではとても仕事にならず、かといって機械刈も限度があり、ササ処理の一番重労働が少なくなりつつある。
- ウ 労働災害の未然防止にも大きく関連している。
- エ ヘリコプターによる空中散布は、散布路を刈払ったり、散布の作業も省けられ、薬剤取扱いの安全性も高くなった。
- オ 作業能率では、特殊下刈での刈払いを推定した場合、通常の下刈よりも、その労力は、かなりの掛り増しになるものが、特に空中散布では、ヘリポート準備と薬剤積込み、表示などの附帯作業で済み、比較するまでもない。

なお、実感として、ヒノキがササに被圧されない内の早目に、除草剤散布した方が、一層効果があがると思われる。計画年の秋散布からササが抑制されるのは翌年以降のため。

また、地拵にしても、ササ密生地は除草剤の効果を発揮した方が良いと考える。

(下表参照)

特殊下刈、林地除草剤、散布実績表 (鹿山担当区)

区分 \ 年度	50	51	52	53	54	55	56	計
地上散布	12 ha	25	7	18	38			100
空中散布						50 ha	30	80

特殊下刈、方法別功程調べ

(鹿山担当区)

方法別	面積	功程(人/ha)	備考
除草剤、地上散布	100 ha	41.6	
〃、空中散布	80	0.4	
機械刈払(見込)	—	12.0	

(2) カモシカ被害対策について

動物保護の意見や難しいことは解るが、良い山造りをして、将来に立派な木材資源を造成しなければならぬ林業地域でのカモシカは、有害鳥獣として捕獲出来るようにと皆が願っている。(下表参照)

カモシカによる喰害被害状況

(鹿山担当区)

年度別	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
(A)ヒノキ新植面積累計	50	94	106	128	154	177	198	216	230	245	268
(B)被害区域 〃	0	14	14	16	16	34	46	87	107	113	121
被害割合の推移(B)/(A)	0	15	13	13	10	19	23	40	47	46	45
署全体の 〃	0	4	4	4	6	15	18	28	30	31	33

(3) 安全活動による安全確保について

ただ漠然と“安全・あんぜん”を唱えるのみでなく、一人ひとりが、作業に応じ、場所に応じ、季節に応じ、節目節目の具体的な安全活動と意識の高揚を、実践に反映させる事が出来るようになった。

その結果、無災害を継続させている。

“良い山造りも無災害で、”を柱に、これから私たちの班にかなった工夫を更にこらし、出来ることから頑張っていきたい。

表一 300 事故、発生分析表 55/4~56/12

( 鹿山担当区 )

曜 日		月		火		水		木		金		土		計			
件 数 計		24		10		9		23		11		3		80			
時 間 別		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	計	
件 数 計		16	8	5	5	5	4	5	18	2	9	3		36	44	80	
作 業 内 容	地 拵	3			1	1	2		2		1			4	6	10	
	植 付		4								2				6	6	
	下 刈	2			2	3	1	2	3	1				8	6	14	
	つ る 切				1				2						3	3	
	除 伐	10	2	5	1				2	7	1	3	2		20	14	34
	枝 打		1					1				2				4	4
	そ の 他	1	1			1			1	3		1	1		4	5	9
事 故 部 位 別	顔 面 部	8	4	1	3				1	10		4	2		12	21	33
	肩 部			1											1		1
	胸 部						1	1							1	1	2
	腰 腹 部	1		2		1		1	1	1	1				6	2	8
	手 部	3			1	2	2	1	1	1					7	4	11
	足 部	4	4	1	1	1	1	2	6		4	1			9	16	25
主 な 気 象 条 件	平 常 日	5	1		1	1	1	1	6		2	1			8	11	19
	雨降り、足もとのすべり	3	3	2	1	1	2	1	3		5	1			8	14	22
	前日の雨、足もとのすべり	2		2		1			1						5	1	6
	湿気の多いむし暑い日	1	1		2	2		1	4	1					5	7	12
	冬期間(1~3)	5	3	1	1		1	2	4	1	2	1			10	11	21